



議 会
だ よ り

第84号

発行
平成30年6月1日

この題字「おおやまざき」のデザインは大山崎中学校美術部の作品です

平成30年第1回定例会(3月議会) 会期2月26日～3月30日

平成30年度予算案を可決 (8～9ページをご覧ください)

平成29年度補正予算案を可決 ～ 第三大山崎小学校プール等撤去工事
については会期を延長して調査 ～



向日市文化資料館所蔵

表紙の写真

昭和5年(1930)5月の大山崎駅構内

戦前の新京阪線時代の大山崎駅の写真は珍しい。新京阪線は昭和3年に開通し、戦後の昭和24年に京阪電鉄が手放して、現在は阪急京都線となっている。写真は乙訓尚武会、町村会が満州(現在の中華人民共和国東北区)駐在の日本兵のため慰問隊を送った時の記念に撮られたもので、背後の看板には、東向日、長岡天神駅の傍で、いちご狩り園が開かれた旨が書かれている。(大山崎町歴史資料館)

目次

平成30年第1回定例会

- 一般質問要旨など 2 ～ 6
- 【公開】政務活動費の内訳 6下段
- 【特集】どうなる?中央公民館 7上段
- Adrianのスイス通信 7下段

- 【予算】こんなことが決まりました 8 ～ 9
- 【報告】第二大山崎小プール等撤去工事 9下段
- 審議結果 10 ～ 11
- 議会のうごき等 12

町政を問う

一般

質問

第1回定例会(3月議会)では、8人の議員が一般質問に立ち、当面する本町の課題について、町の考えをたどしました。質問と答弁の内容を要約し、お知らせします。

一部要旨

西田 光宏議員……P 2

- ❖子ども達の教育環境整備について
- ❖施設整備計画について 他

波多野庇砂議員……P 3

- ❖公民館の整備検討計画着手について
- ❖町長施策に大きな資金が伴う事業について 他

岸 孝雄議員……P 3

- ❖公共施設・設備の整備計画とまちづくりについて
- ❖教育・福祉・防災面から本町の施設、サービスの運用について 他

朝子 直美議員……P 4

- ❖保育所について
- ❖町民の代表である議会での説明について

北村 吉史議員……P 4

- ❖今後のまちづくりについて
- ❖将来の財政について 他

渋谷 進議員……P 5

- ❖中央公民館等の施設整備検討計画について
- ❖長寿苑の風呂利用について

山中 一成議員……P 5

- ❖子育て支援について
- ❖教育について 他

森田 俊尚議員……P 6

- ❖防災子ども安全まちづくり事業について
- ❖平成30年度予算に係る総括的事項について 他

質問・答弁の詳細については、会議録(冊子・HP)をご覧ください

※掲載内容は、一般質問をもとに各議員が作成しています。(質問順に掲載)

西田 光宏議員 (所属会派 大山崎クラブ)



1. 子ども達の教育環境整備について

問 中学校給食のありかた(建設場所)について、平成28年度に中学校給食導入検討委員会の提言を受けて、将来を見据えて中学校給食の導入に取り組みと決断された。平成30年度の予算案において、中学校給食実施に向けた施設設計業務委託に約3千8百万円を計上している。

そこで、中学校給食の実施方式は自校方式とセンター方式のいずれか、また建設敷地はどこに決定されたのか。

答 実施方式はセンター方式で、用地は大山崎中学校前の東側公有地である町体育館第一駐車場敷地(面積2千2百平方メートル)、2019年度の着

工、2020年度中の大山崎中学校での運用開始を目指す。

2. 施設整備計画について

問 公民館及びその周辺の整備(老朽化対策)について、大山崎町立中央公民館等の施設整備検討計画では、検討会議の1回目(1月14日)、2回目(2月28日)に開かれたとありました。施設複合化4案(中央公民館や周辺施設整備計画)検討会議、議論始める」と報道され、「建設工事費は概算で12億6千万、19億7千万円かかる見込み」との新聞報道には、住民の皆さんからは「現状での町財政規模で多額の出費は大丈夫なのか」の声も聞いている。甚に囁かれている複合化は既成事実か、その中に保育所を含む計画が出されているがその理由は何か。

答 役場周辺地区シビックゾーン内にある各施設の現状と課題を整理し、単

独での建て替えと長寿命化改修、また複合化による整備など比較検討しながら、大山崎町立中央公民館等施設整備検討会議での意見を聞いた上で判断する。現時点では保育所を含む計画はあくまで案の一部として提出したものである。なお、整備方針を決定した後には、速やかに進めるための平成30年度当初予算案に、仮称であるが「中央公民館等施設整備基本計画業務委託料」の予算を計上した。

他に学校教育施設の充実について、適応指導教室について、JR山崎駅バリアフリー化事業の進捗、防犯灯更新工事の進捗(今後の課題・LED化)、ソーシャル・ネットワークキング・サービスの活用について、電柱の無電柱化について質問した。再質問では、長寿苑のお風呂について、現在の状況と今後の改修予定を質問した。

議会だより

波多野 庇砂議員 (所属会派Ⅱのぞみ)



1. 公民館の整備検討 画着手について

問 中央公民館の施設整備検討計画画着手について、10月に選挙を控え、どこまでやるのか。

答 周辺施設もあわせて中央公民館等施設整備検討会議で、「建替え」「長寿命化改修」「複合化」のどれが望ましいか、意見を伺っているところである。

2. 町長施策に大きな資金が伴う事業について

問 2区分とは、A区分を「ほぼ町民が使用する」施設。例えば、福祉施設「長寿苑」と使用する「うぐいす号」、教育施設2つの小学校のリフォーム等々に区分される事業とする。次に、B区分を「ほぼ過半数が町域以外の人々のため」に使われる「費用とする」。

具体的にB①として、町体育館は70%以上が町域外の人々のクラブ等やフェンシング等の大会イベントであるのに、エレベーターとクーラーの約2億円の入力となる。税収が瘦せ細り続ける今、やるべき事と異なる旨、会派「のぞみ」として指摘したが、現町政と支援与党会派によって実施行された。町域外の人々に重点サービスは3億円となる。町民の不満はこの点にあるとして答弁を求める。

3. 第2保育所の民営化について

問 第2保育所の民営化に対して、民間事業者に對して、賃地を提供するため、まだまだ使える第二天山崎小学校のプールなどを解体してグラウンド内に再構築する費用が2億円となる。町民の理解が得られている状況と異なるとして答弁を求める。

答 (答弁噛み合わせ)
具体的にB①として、町体育館は70%以上が町域外の人々のクラブ等やフェンシング等の大会イベントであるのに、エレベーターとクーラーの約2億円の入力となる。税収が瘦せ細り続ける今、やるべき事と異なる旨、会派「のぞみ」として指摘したが、現町政と支援与党会派によって実施行された。町域外の人々に重点サービスは3億円となる。町民の不満はこの点にあるとして答弁を求める。

4. 当町域における中古住宅の流通における中古について

問 ①府と協議又は相談しているか。②高さ規定は府の管轄となるが、各町町の希望が盛り込まれて当然である。協議しているか。

答 分譲による事例は無いとのことである。高さ規定などの都市計画にかかる京都府との協議については、課題を解決する過程では必要と考えている。

5. 学校関連全般について

問 学級崩壊的な事象について改善したのか。

答 昨年4月以降に「学級がうまく機能しない状況」が発生したので、継続的にその対応に努めている。複数の教諭による協力的な指導体制の他、緊急加配措置による学習支援、通級指導教室での個別支援、担任外教職員の学級経営支援、スクールカウンセラーとの連携等により大きく状況が改善された。

岸 孝雄議員 (所属会派Ⅱ民主フォーラム)



1. 公共施設・設備の整備計画とまちづくりについて

問 町内の公共施設・設備の経年劣化状況を踏まえた整備計画における優先順位付けとその評価法について問う。

答 各種設備の老朽化が進み、改修や更新の必要性が生じている。これらの管理を長期的視点で計画的に推進するため、「大山崎町公共施設等総合管理計画」に基づき、公共施設の適正な維持管理等を進めている。それぞれの施設の利用状況や町政課題の解消を図る政策調整等も加味した上で、本町にとって最適な方策を考える必要性を認識している。

全対策について問う。
答 町道1号は通学路でもあり、安全対策が必要な路線と認識し、道路改良を検討している。名神高速道路より北側の区間から整備する予定で、平成30年度に予備設計し、交通量、事業効果などを考慮して整備方針を決定する。また、天王山古戦橋との交差点では、府民公募型整備事業で東西方向への横断歩道が設置される予定である。

2. 教育・福祉・防災面から本町の施設、サービスの運用について

問 民生児童委員の担当区域割り等の設定や災害発生時の避難所設定などの運用について、現状の課題と今後の在り方について問う。

答 様々な制度やサービスにおける地域ごとの区割りについて、地域の互助の力を最大化する視点が重要である。小学校区については教育委員会で道路・河川・鉄道敷きなどの地理的状況、地域コミュニティ形成の経緯や地域の実態を踏まえて設定されている。民生児童委員の担当区域は町内会や自治会の区域を目安とする一方で、災害発生時の避難所は、災害の種類によって開設する避難所が異なることから、あえて事前の区割り設定はしていない。近隣市では、小学校区ごとに地域住民が集まって、避難所運営等の防災訓練を実施するなど、事例もあり、地域の皆さんのご意見を伺いながら、改めて調査・研究を行いたい。

発生時の避難所設定などの運用について、現状の課題と今後の在り方について問う。
答 様々な制度やサービスにおける地域ごとの区割りについて、地域の互助の力を最大化する視点が重要である。小学校区については教育委員会で道路・河川・鉄道敷きなどの地理的状況、地域コミュニティ形成の経緯や地域の実態を踏まえて設定されている。民生児童委員の担当区域は町内会や自治会の区域を目安とする一方で、災害発生時の避難所は、災害の種類によって開設する避難所が異なることから、あえて事前の区割り設定はしていない。近隣市では、小学校区ごとに地域住民が集まって、避難所運営等の防災訓練を実施するなど、事例もあり、地域の皆さんのご意見を伺いながら、改めて調査・研究を行いたい。

議会だより

朝子 直美議員 (所属会派Ⅱ日本共産党議員団)



1. 保育所について

問 この度示された「中央公民館等の施設整備検討計画」の複合化案に、第1・第3保育所を統合する案がある。町策定の今後10年間の保育所入所児童予測に基づけば、この1か所に約250人を受け入れることになる。保育の専門家によれば、保育所の適正規模は90人程度と言われている。

答 保育所の適正規模についての町の考えを問う。
答 複合化案については、あくまでも現行と同等の定員や面積をもとに、2つの保育所機能を入れることが可能であることを示したものである。
現時点において、保育所機能を含めることについての具体化を決定した

わけではない。
再質問 子どもの生活の場である保育所として、適正規模をどう考えているのかという質問をしている。どうか。

答 認可保育所の定員は60人以上とされており、適正規模についての法的な基準、上限はない。

再質問 適正規模について議論していないということか。

答 今回の施設整備計画は、施設の課題を解消するためのものであり、複合化施設に保育所を入れるとは決まっていない。

再質問 決まっていないというが、案が示されており、決まればそのようになるということではないか。
答 可能性は否定できない。

再質問 複合化対象の公民館や長寿苑の利用者は検討会議のメンバーに入っているが、保育所関係者が入っていない。なぜか。
答 検討会議の中心議題

は、公民館、長寿苑、保健センターの3つの施設の老朽化対策について、単独建て替え・長寿命化・複合化のいずれにするかを検討することである。

再質問 保育所の今後のあり方として、大規模化には反対である。改めて町長の適正規模についての私見を伺いたい。上限がなければ、1か所500人もあり得るのか。

答 設置基準に基づいていけば適正規模であると考ええる。

2. 町民の代表である議会での説明について

問 議会での当初の説明答弁から、大幅に事業の進捗が遅れても行政から説明されないことが続いている。町民に対する公式な表明である議会答弁を軽視しているのではないか。
答 引き続き適切な時期に議会報告する。

他に、第二大山崎小プール等解体工事などについて質問した。

北村 吉史議員 (所属会派Ⅱ大山崎クラブ)



1. 教育について

問 小学校外国語指導助手(ALT)配置充実について問う。

答 ALTの増員により、言語に親しませ、能力の向上を図っていく。

問 今後の英語教育の充実について問う。

答 職員の資質向上を図り、小中9年間を見越した教育を進める。

2. 今後のまちづくりについて

問 老朽化したインフラの再整備について問う。

答 積年の課題が多いが、事業費の平準化を図り、優先順位をつけ、メリハリのある政策と更新を進める。

問 JR山崎駅・阪急大山崎駅周辺整備、円明寺

が丘団地再生について問う。

答 あったらしいな駅前ワークショップの開催と、老朽化した円明寺が丘団地は、本町の社会問題となりつつある中で、円明寺地区のまちのあり方を考えるワークショップを開催し、多様な住民の意見を抽出しながら、住民と協働して町づくりを考えたい。

問 町道48号線防犯カメラ設置について問う。

答 警察と協働をしつつ、中学校の生徒だけでなく、通行する方の安心・安全に努める。

問 町道48号線防犯カメラ設置について問う。

3. 将来の財政について

問 一般会計は膨張の一途を辿っているが、2025年問題を見据えた場合、大変厳しい状況に陥ると危惧しているが、見解を求める。

答 人口減少社会が到来する中、扶助費及び、これまで先送りしてきた課

題解決のための公債費の増加が見込まれる。

今後国・府の補助金等と有利な地方債を活用する。

また、住民ニーズを的確に把握し、質の高い行政サービスを維持するためにも、財政の健全化に努める。

問 事業の選択と集中が必要ではないか。

答 議員の指摘の通り、真に必要な事業を見極め、行政改革に取り組み、また、財政規律を保ち、計画的な財政運営に取り組む。



議会だより

渋谷 進議員 (所属会派Ⅱ日本共産党議員団)



1. 中央公民館等の施設整備検討計画について

問 中央公民館等の施設整備検討計画が議員に示され、この検討計画書をもとに検討会議が現在開催されている。

答 町は、検討会議での意見を参考に今後の公民館等の施設整備の方針を決めることである。町は、検討会議での町の発言や本議会での他議員による一般質問への答弁で、「町の方針はまだ決まっていない」「旨を繰り返している。そこで、この検討計画書そのものについて、問題点を指摘し、町の考えを質す。

続けるか、どちらが負担が少ないかの見極めが重要である。常識で考えると、今ある資産をできる限り使い続ける事が適切である。

また財政運用の面からも初期投資が少ない事は借金返済のための公債費が少なくなり、運用の制約がより軽くなるのは明白である。

したがって、まず長寿命化を十分に検討する事が適切だが、検討計画書は、「壊して複合化する」案の記述が、「単独建替え」案、あるいは「長寿命化」案の3倍である事から明らかのように、「複合化」志向となっていて、極めてバランスの悪い計画書となっている。

町が言う「まだ方向は決めていない」とは、どういう意味か？またいつ決めるのか。

答 中央公民館等、シビックゾーンの公共施設整備について、「複合

化」「単独建替え」「長寿命化」の3つの方向のどれに進むのか、議員の皆さんや検討会議での意見を参考に、できるだけ早い時期に決定する。

2. 長寿苑の風呂利用について

問 「長寿苑の風呂が使えない状況で困っている」「風呂が無くなる事を心配している」などの声が町民から寄せられているが、風呂使用の現状・原因・今後の対応について質す。

答 長寿苑の風呂の給湯設備は、現在、介護施設などごみの郷と共用していて、特に冬場は供給が不足しがちである。

また、配管の一部の修理が必要となっているため、長寿苑での風呂の使用を一時ストップしている。修理については検討中である。

山中 一成議員 (所属会派Ⅱ大山崎クラブ)



1. 子育て支援について

問 子育て支援コンシェルジュ事業について、目的と事業の内容を問う。

答 国が定めた「利用者支援事業の母子保健型」を活用する事業で、妊娠期から子育て期にわたるまでの母子保健や育児に関する相談に対応する。支援を必要とする妊産婦を早期に把握し、利用できる母子保健サービス等を選定して、情報を提供する。あわせて、必要に応じて関係機関と積極的に連携し、手厚い支援を必要とする方には、支援プランの策定・評価を実施し、妊産婦等を包括的に継続的に支えていくためのシステムの構築を図る。不安感や負担感を寄り添った支援を通じ

て取り除く、安心・信頼して相談できる環境及び体制を構築する。

組んでいる。国・府平均と比べて、本町の英検取得率が高いのは、平成25年度からの取り組みにおいて一定の補助金を支給してきたことが要因の一つである。

問 民間保育所整備事業について、現在の進捗と今後のスケジュールを問う。

答 来年4月の開所に向けて、事業者への運営等必要な支援のあり方についても慎重に検討している。

2. 教育について

問 放課後児童クラブ移転後の状況及び学習時間の創出について問う。

答 子どもたちの声や保護者の皆さんから寄せられるご要望事項を参考に、学校とも連携・協議しつつ、放課後児童クラブ施設の適切な運営に努めたい。

問 中学校英検補助拡充事業について、目的と事業の内容を問う。

答 国際共通語である英語力の向上が不可欠であり、大山崎中学校を受験の準会場として、町立中学校在籍生徒を対象に年に3回の英語検定試験に取り

組んでいる。国・府平均と比べて、本町の英検取得率が高いのは、平成25年度からの取り組みにおいて一定の補助金を支給してきたことが要因の一つである。

問 ホストタウン推進事業の進捗について問う。

答 将来的な提携を見据えたスイスのある自治体に対し、在日スイス大使館、そしてスイスの在ジュネーブ日本領事事務所等の後押しをいたいただく中で、スイス連邦のヴォー州という行政区にあるモルジュと交流のきっかけづくりを行うことができた。

その他に、小規模保育所運営支援、病児保育施設運営管理、延長保育事業費補助事業について、この間の実績と効果を問うた。また地域で支える学校教育推進事業の拡充について、目的と事業の内容を質問した。

議会だより

森田 俊尚議員
(所属会派Ⅱ大山崎クラブ)



1. 防災子ども安全まちづくり事業について

問 どのような事業か。
答 国の交付金を活用する事業で、実施するのは市内で当町が初となる。側溝改修や防犯灯、公園遊具更新等を対象としている。平成50年度完成予定であったが、平成34年度には全ての事業が完成する。

2. 小学校トイレ改修事業について

問 事業の進捗はどうか。
答 完了までに12年間要する予定であったが、5年間短縮し、来年度には全て完成する見込みである。

3. 平成30年度予算に係る総括的事項について

問 今回の一般会計予算案は62億8千万円と過去20年で最大規模である。率直に言いつつ、過去からのツケを今払っているというのが実情である。この実情を招いた共産党町政時代のことは、二度とあのよう

な轍を踏まないよう、肝に銘じておく必要がある。現在の保育所問題の根本は、真鍋町政時に起因している。当時の集中改革プランにおいて、統廃合もしくは指定管理者制度の導入を検討し、平成20年度に実施するという方針が明確に掲げられていた。しかし、その後誕生した真鍋町政では、独断で公立保育所維持を強行し、しかもその手法は、正規職員から非正規職員に置き換えるというものであり、今に至る問題の根本となった。公立維持に固執し、保育における最も重要な人的体制を不安定にしたことにより、その後の保育所運営は常に綱渡り状態であり、その手法による運営は破綻状態であった。町政を預かる者として、ニーズに応え、施設の老朽化と待機児童問題を

を解消し、子育て支援を安定的に進めることは当然のことであり、山本町政を単に政治的な謀略で攻撃する一部の団体に惑わされない良識が今求められている。山本町政となつてからは、国・府との関係は強固かつ盤石であり、財源の獲得も十分な評価に値するものであり、人的な支援も山本町政でなければ実現し得なかったことである。そこで、今年度当初予算について問う。
答 今年度当初予算に関し、国・府との良好な連携のもと、当町にも押し寄せるといえる少子高齢化や人口減少が及ぼす扶助費の増、税収の落ち込み、そして公共施設の老朽化に対処すべく財源確保に努めている。安心・安全なまちづくりを推進する上で、真に必要な事業を見極め、集中と選択を着実に実行していくことが求められ、そのための「着実な業務遂行予算」と認識している。

平成29年度政務活動費の内訳を公開します

町議会は、町民に開かれた議会を目指して、毎年度の政務活動費の内訳を公開しています。

会派名	大山崎クラブ	日本共産党議員団	清 新	のぞみ	民主フォーラム	公明党	光 会	合 計
会派人数	4人	3人	1人	1人	1人	1人	1人	12人
平成29年度交付額	240,000	180,000	60,000	60,000	60,000	60,000	60,000	720,000
経 費	調査研究費							0
	研修費				7,000	29,288		36,288
	広報・広聴費		85,910		64,598	6,992		157,500
	要請陳情等活動費	151,470						151,470
	会議費							0
	資料作成費					17,124		17,124
	資料購入費		39,568	44,040		9,136		92,744
	事務費	6,912			5,589	10,280	6,841	29,622
人件費								0
合 計	158,382	125,478	44,040	70,187	50,532	36,129	0	484,748
返還額	81,618	54,522	15,960	0	9,468	23,871	60,000	245,439

Q 政務活動費ってなに？ **A** 町の課題や町民の意思を把握し、町政に反映させるために「会派」(同じ意見等をもった議員が結成する団体)が行う活動に要する経費に対して交付しています。

Q いくら交付されるの？ **A** 交付額は「会派」に属する議員1人当たり月額5,000円です。

特集

どうなる？中央公民館

平成30年第1回(3月)定例会で明らかになった中央公民館等の施設整備計画の進捗についてお知らせします

年度	月	町のうごき	
H27	3月	公共施設等総合管理計画を策定	耐震化改修には2,500万円前後必要
H28	5月	中央公民館本館ホールや「ゆめほっぺ」など一部を閉鎖(耐震性不足のため)	
	8月	検討計	施設整備計画の策定業務を業者に委託 [委託料約1,048万円]
	3月	画	(策定業務の期限を6月に延長)
H29	6月	の	(策定業務の期限を10月に再延長)
	10月	策	(策定業務の期限を1月に再々延長)
	1月	定	中央公民館等の施設整備検討計画を策定※
	2~3月	中央公民館等施設整備検討会議を4回開催 (2/14,2/28,3/19,3/27)	
H30	4月~	(仮称)中央公民館等施設整備基本計画の策定業務を予算計上 [委託料ほか2,092万2千円]	
		<p>【予算審議における質疑・答弁(要旨)】(3/9~3/16時点)</p> <p>Q 「建て替えるのか」「長寿命化するのか」「複合化するのか」の方針はいつ決めるのか？</p> <p>A 2~3月に開催する4回の検討会議や予算審議における意見を踏まえて、できるだけ速やかに方策を決め、平成30年度中に施設整備基本計画の策定を行う。基本計画の策定業務の中には、町民の意見を広く聴くためのワークショップ開催等を含めている。</p>	

※「中央公民館等の施設整備検討計画」や複合化する場合のイメージ図は町HPでご覧いただけます。
(ホーム>各課などの窓口>政策総務課>政策総務課 管財係>大山崎町立中央公民館等施設整備検討会議)

グリュエツィ + Grüezi! Adrianのスイス通信

【議会だより編】

「レマン湖の花」モルジュ市について紹介します！

モルジュ市は、スイス南西のフランス語圏ヴォー州にある、レマン湖湖畔の中世の美しい街並みが残る基礎自治体。63自治体からなるモルジュ郡の郡都で、中世の古城を中心に広がる町は、中世の自治都市であった大山崎町にも通じる。人口も1万5千人と大山崎町と同規模。モルジュ市の行政(ミュニシパリテー)は7人制で、その内の1人であるヴァンサン・ジャック市長の先導のもとに組織されている。市の議会(コンセユ・コミューナル)は100人制で成り立っており、5年に一回選挙が行われている。



©Sacha Fehlmann

4~5月はチューリップ・フェスティバルがあるほか、四季を通じて見頃の花が絶えないことから、町は「レマン湖の花」と呼ばれている。中世の古城の中には4つの博物館があり、主に軍事歴史に関して展示されている。

モルジュとその周囲には、州立の小さな小学校19校、中学校と高校1校ずつがある。校外では、様々なスポーツクラブなどが活動しており、その中の一つには、モルジュフェンシングクラブがある。

大山崎町が遺産として受け継ぐ伝統文化は、モルジュ市民にとっても大きな魅力であり、本町との姉妹都市交流提携が実現したあかつきには、互いの市民が相互交流する自治体間交流をめざしたいですね！

※町の国際交流員であるAdrianさんは、「広報おおよまざき」にスイス通信を連載されています。



3月議会

こんなことが決まりました



教育環境の向上・子育て支援

平成30年度一般会計予算

子育て支援コンシェルジュ事業 (175万8千円) **New!** (予算決算常任委員会)

出産後の育児相談や母子の体調管理だけではなく、妊娠期から継続して出産への不安(切迫、近隣に頼れる親戚がいるか、出産年齢など)や、育児相談・支援を行う事業で、平成30年度準備が整い次第始めるとの説明がありました。

委員からは丁寧に関わることができる体制や周知を要望する意見がありました。

適応指導教室整備・運営事業 (285万6千円) **New!** (予算決算常任委員会)

6月第3週から中央公民館において週3日(火・木・金曜日)午前中に教室を設置し、小・中学校の不登校児童・生徒が早期に復帰できるよう臨床心理士やスクールカウンセラーが関わって集団への適応力を培い、保護者向けの教育相談も行う事業であるとの説明がありました。

委員からは「復帰すること」のみを成果とせず、継続した関わりが可能な事業運営になるよう要望がありました。

中学校給食施設等実施設計業務 (3,857万9千円) **New!** (建設上下水道文教厚生常任委員会)

中学校給食施設について、建設予定地は大山崎中学校前東(現・町体育館臨時駐車場)とし、実施方式はセンター方式にて行うとの説明がありました。

また、今後のスケジュールについては、平成30年度中に実施設計、平成31年7月から工事着工、平成32年9月から中学校給食を開始する予定との説明がありました。



給食センターの建設予定地

▶MEMO 平成30年度一般会計予算の総額は62億8千万円(過去20年で最大規模)

安心・安全

平成30年度一般会計予算

防犯灯LED化更新工事 (4,182万3千円) **UP!** (予算決算常任委員会)

町内の防犯灯のうち、約1,200基の防犯灯がLED照明に転換されます。

LED照明は、従来の水銀灯や蛍光灯に比べて約60%と少ない電気で同じ明るさが得られます。また、電球の寿命も従来の水銀灯や蛍光灯に比べて3倍~5倍程度と長く、ランプ切れの頻度が減少します。このため、省エネによる電力コストの削減と、電球の取り替えに係る工事コストの削減が図れるだけでなく、水銀による環境の汚染の防止にも寄与できます。

現在、CO2排出量の削減のため、世界各国で白熱電球を廃止する動きが広がっています。日本でも、LED照明などの省エネランプへの切り替え、普及が加速しています。このようにLED照明は次世代照明の最有力候補とも呼ばれており、省エネによる環境への配慮はもちろん、コスト面でも効果が期待できます。

低炭素社会づくりを意図した環境に優しいまちづくりをいっそう推進するものです。

ハザードマップ更新事業 (577万9千円) **New!** (予算決算常任委員会)

新たに公表された浸水想定区域や、追加指定された土砂災害警戒区域などを反映させた防災ハザードマップが作成され、全戸配布されます。

委員からは、これまでの冊子だけでなく大判の地図形式や、町内企業への一層の周知を求める意見があり、町からは検討する旨答弁がありました。

平成30年
第1回(3月)
定例会

平成30年度一般会計ほか各会計予算、平成29年度補正予算などを可決

審議内容のうち主なものを次のとおり紹介します。審議結果は10・11ページをご参照ください。

観光振興・まちおこし

平成30年度一般会計予算

プレミアム商品券発行支援事業 (324万2千円) **UP!** (予算決算常任委員会)

これまでのプレミアム商品券よりも内容を拡充(プレミアム率アップなど)するとの説明がありました。

特産品販売促進事業 (114万8千円) **New!** (予算決算常任委員会)

町が商工会に委託し、JR山崎駅内のコーナーで町の特産品(ハート形の食品など)を販売するとの説明がありました。

史跡 乙訓古墳群(鳥居前古墳) 用地買上事業 (1億3,397万1千円) **New!** (予算決算常任委員会)

国史跡に指定された乙訓古墳群のうち、本町に位置する鳥居前古墳の保存と今後の活用のため、用地の一部を買い上げるもので、国の補助(8割)を受けて実施するとの説明がありました。

まちづくり

平成30年度一般会計予算

(仮称)中央公民館等施設整備基本計画策定事業 (2,092万2千円) **New!** (予算決算常任委員会)

中央公民館等の施設整備基本計画を策定するもので、整備方策は将来のまちづくりを見据え、維持管理コストも含めて、検討会議での意見を集約し判断するとの説明がありました。(詳細は7ページ特集をご覧ください)

JR山崎駅バリアフリー化事業 (900万円) **New!** (予算決算常任委員会)

JR山崎駅バリアフリー化工事の詳細設計のため、JR西日本に補助金を支出するもので、今後平成31年度から工事を開始し、平成32年度末に供用開始を予定している旨の説明がありました。

防災子ども安全まちづくり事業 (8,831万1千円) **UP!** (予算決算常任委員会)

国庫交付金を利用し、通学路交通安全プログラムや、防災子ども安全まちづくり計画に基づき、円明寺地区・下植野地区の狭隘な道路の側溝を暗渠化し、歩行空間を拡幅するものであるとの説明がありました。

円明寺地区地域づくり検討(ワークショップ)事業 (202万5千円) **New!** (予算決算常任委員会)

円明寺地区の課題について住民間で情報共有し、意見交換などするため、ワークショップを2回開催し、その成果を都市計画マスタープランの地区別計画として位置づけたい旨の説明がありました。

▶MEMO 平成30年度一般会計予算の歳入には、新たに課税される都市計画税9,303万2千円も見込まれている

REPORT 第二大山崎小学校プール等撤去工事

平成29年度一般会計補正予算(7号)
(建設上下水道文教厚生常任委員会)

第二大山崎小学校のプール等撤去工事について、杭抜き作業のための掘削中に地中からコンクリートがら等の埋設物が出てきたことを受けて、これらの除去に必要な補正予算(7,600万円増額)が急きょ追加提案され、賛成多数で可決しました。また、さらに関連する追加提案が見込まれたため、会期も3月30日まで延長し、委員会で町に対して報告等を求めました。

〈委員会で明らかになった経過と今後のスケジュール〉

- 1月 第二大山崎小学校プール等撤去工事 着工
- 3月下旬 地中のコンクリートがら等の埋設物を確認 → 急きょ補正予算を提案 → 議会で可決
- 3月31日 同工事の変更請負契約(杭抜き作業にともなう除去に必要な2,100万円増額)を締結
- 4月16日 同工事完了
- 5月 その他の地中埋設物(深さ6m)を除去する工事発注(予定) → 6~7月 施工(見通し) ※3月30日時点

町の説明

- ・廃棄物処理法等により必要な除去
- ・跡地に民間保育所を建設する法人が予定地内の埋設物の除去を要望しているため対応

各委員からは、同工事にともなう**防音や粉塵対策、トラック出入り時の交通安全対策、住民への説明会**を求める意見があり、「**必要に応じて対策する**」との答弁がありました。また、跡地に建設される**民間保育所整備への影響の有無**についての質疑があり、「**影響のないよう民間保育所を建設する法人と協議している**」との答弁がありました。なお、本件について、地中埋設物を深さ6mまで除去する必要性を疑問視する意見や民間保育所建設工事に必要な範囲で除去すべきでは等の意見もあったため、委員会では閉会中も継続調査することとしました。



二山小プール等跡地

※5月21日の委員会では「補正予算のうち5,500万円は執行しない」「民間保育所を建設する法人が最小限の範囲で施工する」「町はその施工にかかる費用を補助金として負担する」との説明がありました。

議案に対する各議員の表決結果をお知らせします！

平成30年第1回(3月) 定例会

一般会計予算 平成30年度当初予算を賛成多数で可決

◇賛否が分かれた議案等◇

【賛成：○ 反対：×】(議席順に掲載)

議案番号 ※	議案名	議決結果	西田 光宏	森田 俊尚	山中 一成	北村 吉史	岸 孝雄	高木 功	辻 真理子	朝子 直美	渋谷 進	前川 光	波多 野庇砂	小泉 満
3	大山崎町国民健康保険税条例の一部改正について	原案可決	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	
4	大山崎町介護保険条例の一部改正について	原案可決	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	
14	平成30年度大山崎町一般会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	
発議1号	第14号議案 平成30年度大山崎町一般会計予算に対する修正動議	否 決	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	
15	平成30年度大山崎町国民健康保険事業特別会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	議長の ため採決 には加わ らない
17	平成30年度大山崎町介護保険事業特別会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	
18	平成30年度大山崎町後期高齢者医療保険事業特別会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	
22	平成30年度大山崎町水道事業会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	
24	平成29年度大山崎町一般会計補正予算(第7号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	
決議1号	第二大山崎小学校プール等の撤去工事の追加工事について、町が町民への説明責任を果たすことを求める決議案	否 決	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	
意見2号	森友学園問題等の真相究明を求める意見書案	否 決	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×	×	
意見3号	働き方改革一括法案を国会に提出しないことを求める意見書案	否 決	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×	×	

※議案番号等は平成30年第1回定例会からの通し番号です。

◇全員が賛成であった議案等 (1) ◇

議案番号	議案名	議決結果
1	大山崎町公益的法人等への職員の派遣に関する条例の制定について	原案可決
2	大山崎町指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準を定める条例の制定について	原案可決
5	大山崎町指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部改正について	原案可決
6	大山崎町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	原案可決

◇ 全員が賛成であった議案等 (2) ◇

議案番号	議 案 名	議決結果
7	大山崎町指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部改正について	原案可決
8	大山崎町地域包括支援センターの職員及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	原案可決
9	大山崎町後期高齢者医療に関する条例の一部改正について	原案可決
10	大山崎町都市公園条例の一部改正について	原案可決
11	大山崎町消防団員等公務災害補償条例の一部改正について	原案可決
12	平成29年度大山崎町一般会計補正予算 (第6号)	原案可決
13	平成29年度大山崎町下水道事業特別会計補正予算 (第1号)	原案可決
16	平成30年度大山崎町下水道事業特別会計予算	原案可決
19	平成30年度大山崎町大山崎区財産管理特別会計予算	原案可決
20	平成30年度大山崎町円明寺区財産管理特別会計予算	原案可決
21	平成30年度大山崎町下植野区財産管理特別会計予算	原案可決
23	大山崎町道路線の認定について (円明寺線第125号・小字里ノ後の開発による新設道路延長86・3m)	同 意
25	大山崎町地域包括支援センターの職員及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の一部改正について	原案可決
26	平成29年度大山崎町一般会計補正予算 (第8号)	原案可決
諮問 1号	人権擁護委員候補者の推薦について (中田 貞之さん)	適任と認め 推薦に同意
陳情 1号	精神障害者に対する公共交通機関の運賃割引制度適用を求める意見書の提出を求める陳情書	採 択

※第23号議案名のあとの()内は認定された町道の路線名及び概要を記載しています。
 ※諮問1号議案名のあとの()内は推薦される方のお名前を記載しています。

【討論の状況】 本会議の表決前に交わされた討論の状況をお知らせします

議案番号	議 案 名	反対の立場で討論	賛成の立場で討論
3	大山崎町国民健康保険税条例の一部改正について	渋谷 進	
4	大山崎町介護保険条例の一部改正について	朝子 直美	
12	平成29年度大山崎町一般会計補正予算(第6号)		渋谷 進
14	平成30年度大山崎町一般会計予算	前川 光 波多野 庇砂	森田 俊尚 高木 功
発議1号	第14号議案 平成30年度大山崎町一般会計予算に対する修正動議		朝子 直美
15	平成30年度大山崎町国民健康保険事業特別会計予算	渋谷 進	
17	平成30年度大山崎町介護保険事業特別会計予算	朝子 直美	
18	平成30年度大山崎町後期高齢者医療保険事業特別会計予算	朝子 直美	
22	平成30年度大山崎町水道事業会計予算	渋谷 進	
24	平成29年度大山崎町一般会計補正予算(第7号)	波多野 庇砂	朝子 直美
陳情1号	精神障害者に対する公共交通機関の運賃割引制度適用を求める意見書の提出を求める陳情書		山中 一成 高木 功 岸 孝雄 朝子 直美
決議1号	第二大山崎小学校プール等の撤去工事の追加工事について、町が町民への説明責任を果たすことを求める決議案	岸 孝雄	波多野 庇砂 朝子 直美
意見2号	森友学園問題等の真相究明を求める意見書案	波多野 庇砂 高木 功 岸 孝雄	渋谷 進
意見3号	働き方改革一括法案を国会に提出しないことを求める意見書案	波多野 庇砂 岸 孝雄	朝子 直美

討論の内容は会議録(冊子・HP)をご覧ください

議会のページ

●閉会中の委員会開催など

★議会運営委員会

5月2日(水)

第2回定例会の日程について

5月31日(木)

第2回定例会予定付議事件の説明

★建設上下水道文教厚生常任委員会

5月2日(水)

5月21日(月)

第二大山崎小学校プール等撤去工事について

★広報常任委員会

5月16日(水)

「議会だより第84号」編集について

★全員協議会

5月21日(月)

大山崎町立中央公民館等の施設整備検討計画について

●第二保育所保護者会からの申し入れにより懇談の場を設けました

2月7日(水) 第1委員会室

当日は、議長・副議長が代表して、同保護者会の皆さんからご意見等を聴き、後日その内容を全議員に伝えました。(前号)に間に合わなかったため今号に掲載)

※議会基本条例に基づく町民との懇談会等については、議会改革特別委員会での方法を検討中です。

議会ニュース

◆大山崎中学校の美術部に 議会だより表紙の題字デザインを依頼

今号表紙の題字「おおやまぎ」は、大山崎中学校の美術部の皆さんにお願いし、すてきな題字をデザインしていただきました。次号もお願いする予定ですので、ご期待ください。
美術部の皆さん、校長先生、顧問の先生方、本当にありがとうございました！

◆子育て中の議員のため 授乳やおむつ替えに必要なスペースを設置

第1回(3月)定例会では、子育て中の議員に配慮し、授乳やおむつ替えに必要なスペースを設けました。今後も、町議会として、子育て世代も参加しやすい議会づくりに取り組んでいきます。

皆様の傍聴を歓迎いたします

—6月議会の日程をお知らせします。
ぜひ、傍聴にお越しください—

第2回定例会(6月議会)の日程

- 6月7日(木) 本会議(開会)
- 11日(月) 議会改革特別委員会
- 14日(木) 本会議(一般質問)
- 15日(金) 本会議(一般質問)
- 18日(月) 総務産業常任委員会
- 19日(火) 建設上下水道文教厚生常任委員会
- 20日(水) 予算決算常任委員会
- 22日(金) 広報常任委員会
- 26日(火) 本会議(討論・採決)

〈開会(予定)時間〉

本会議・予算決算常任委員会 午前10時
その他の各委員会 午後1時30分

※傍聴の際は、役場庁舎4階議会事務局窓口にお越しください。

町議会に対するご意見やご質問、ご感想等がありましたら、町議会事務局までお寄せください。

☎618-85501
大山崎町字田明寺小字夏目3番地
大山崎町議会事務局 まで
電話(075)956-2101
Fax(075)953-6020
メール(おおやまぎ町議会HPに掲載の議会係
お問合せ先あて)

編集後記

第1回定例会(3月議会)は、任期中最後の当初予算審議となりました。

住民福祉や基盤整備、人口の推移や、財政の持続可能性を踏まえてのまちの将来設計に加えて、近年では、特に環境への配慮など、審議にあたり考へるべき課題はかなり広範囲になってきています。

私たち議員も個々に様々な切り口から、行政と議論をしながら、これらの課題に取り組んでいます。

みなさんのまちづくりにのご参画を宜しくお願いいたします。
(岸孝雄)

広報常任委員会

- 西田 光宏 委員長
- 辻 真理子 副委員長
- 岸 孝雄 委員
- 高木 功 委員
- 前川 光 委員
- 波多野 庇砂 委員
- 小泉 満 委員